

受け継ぐ本郷町への思い

「おはようございます。」今日もバケツに、たくさんのお花を入れて、地域のお花ボランティアの方々が、テキパキと生徒玄関回りをきれいに花で飾ってくださっています。

私たちの通う本郷中学校は、父や母の時代から地域の方に優しく見守られてきました。例えば、入学式や卒業式の豪華な生け花、体育祭の応援の声やバザー、校舎周りの草刈りやペンキ塗り、朝の交通指導、すべて私たちがよりよい学校生活を送れるようにとやってくださっていることばかりです。

そんな地域の方への恩返しの意味を込めて、吹奏楽部は本郷町のお祭りやイベントで演奏を披露し、地域の方に喜ばれています。また、年に一回本郷小学校と合同で、地域クリーン活動を行っています。自分たちが住んでいる地域を班に分かれて掃除するのですが、保護者や地域の方も協力してくださっています。ところが、実際に掃除してみるとゴミや草などは少ないのです。これはやはり地域の人が、きれいな町にしようという心がけておられるからだと思います。

こういった地域の人の行動を見て、私たちも何かできないかと考え、様々なボランティアを始めました。その一つに献血ボランティアがあります。雨の中、私たち生徒の呼びかけに応じて献血をしてくださる方、「頑張っているねえ。」と優しく励ましてくださる方、うれしくてより一層呼びかけの力が入りました。優しい人が多く、素敵なこの本郷町が大好きです。次の時代を担う私たちの世代は、地域の方がやってくださったことを受け継ぎ、地域にできることを考え、実践していくべきだと思います。ますます本郷町が豊かになるように願っています。



わがまちに望む夢

三原の未来を担う子ども達の声を紹介します
— 連載第42回 —

私たちの宝 ふるさと

私が思う宝。それはこのふるさとです。自分のふるさとは、世界でたった一つしかありません。ふるさとの良いところや特徴を感じながら生活することは、とても幸せだと思います。

私がこう思えるようになったのは、三年生から始まるふるさと学習（総合的な学習の時間）に取り組んできたからです。このふるさと学習は、地域の方と一体となり、地域が栄えるために共に活動を進めていきます。三年生では、梅林地区の梅を色々な人に知ってもらおうというプロジェクトに取り組みました。そのために梅林の歴史を学び、実際に梅もぎをして、梅干しを漬けたり、地元の企業と共同開発を行って、梅シロップを作ったりしました。それを地域のとんどで販売し、多くの人に西野の梅林のことや梅のおいしさを知ってもらうことができました。そして、何よりも私たちの心に梅林をこれからも大切にしていきたいという気持ち芽生えました。四年生では、学校の横にある「学びの森」での活動を通して自然と共存していく大切さを学びました。五年生では、ロシアの方々との交流を通して、相手の国の文化を尊重するだけでなく、自分たちのふるさとの素晴らしさや文化などを再認識し、ふるさとって良いところだなと改めて実感し誇りに思えるようになりました。

六年生では、今までの集大成として、ふるさとの良さを守り広める活動は何なのか、今までお世話になった地域の方々への感謝を伝えるにはどうしたらよいかなどについて考えるふるさとを大切にしていきたいと思っています。

